

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年03月19日

計画の名称	横須賀市公共下水道事業（防災・安全）												
計画の期間	平成31年度～令和04年度（4年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	横須賀市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>止まらない下水道のための施設の最適化</li> <li>下水道資源の活用</li> <li>公共用水域の水質向上</li> <li>地球温暖化対策の推進</li> <li>浸水対策の推進</li> </ul>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	16,648	A	16,645	B	0	C	3	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0.01	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (R02末)	最終目標値 (R04末)
1	重要な幹線管渠等の耐震化率を5.8%（H31）から7.2%（R04）に増加させる。 重要な幹線管渠等の耐震化率を5.8%（H31）から7.2%（R04）に増加させる。 耐震化実施延長（当初耐震化済延長21.827km+整備期間の耐震化延長）/（総合地震対策計画上での）耐震化計画延長（375.472km）	6%	6%	7%
2	下水道に起因する道路陥没件数を20件/年（H31）から19件/年（R04）に減少させる。 下水道に起因する道路陥没件数を20件/年（H31）から19件/年（R04）に減少させる。 H12～評価年度までの道路陥没累計件数/H12～評価年度までの累計年数	20件/年	19件/年	19件/年
3	雨水管渠整備率を0%（H31）から100%（R04）に増加させる。 雨水管渠整備率を0%（H31）から100%（R04）に増加させる。 （整備計画上での）整備実施延長/（整備計画上での）整備計画延長（440m）	0%	100%	100%
4	ポンプ場・処理場の耐震化率を68.2%（H31）から90.9%（R04）に増加させる。 ポンプ場・処理場の耐震化率を68.2%（H31）から90.9%（R04）に増加させる。 最低限の耐震化済ポンプ場・処理場数（当初耐震化済15箇所+整備計画期間の耐震化箇所数）/全ポンプ場・処理場数（22箇所）	68%	82%	91%
5	ポンプ場・処理場の施設・設備の改築進捗率を0%（H31）から100%（R04）に増加させる。 ポンプ場・処理場の施設・設備の改築進捗率を0%（H31）から100%（R04）に増加させる。 （整備計画上での）改築実施数/（整備計画上での）改築実施計画数（367施設）	0%	34%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	-	改築	全処理区管渠耐震(A-1-1)	管渠耐震(5.28km)、耐震診断・耐震設計、総合地震対策計画変更	横須賀市						330		策定済
	A07-002	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	-	改築	全処理区管渠改築(A-1-2)	点検・調査、詳細設計、本管・取付管・マンホール蓋改築	横須賀市						1,221		策定済
	A07-003	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	管渠(雨水)	新設	全処理区雨水管渠整備(A-1-3)	詳細設計、250mm～1800mm×1600mm L=440m	横須賀市						492		-
	A07-004	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	ポンプ場	新設	全処理区ポンプ場耐水化(A-1-4)	根岸ポンプ場他18Pの耐水化	横須賀市						30		-
	A07-005	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	ポンプ場	改築	下町処理区ポンプ場地震対策(A-2-1)	舟倉第2ポンプ場他2P(ポンプ棟の耐震化(3箇所))	横須賀市						63		策定済
	A07-006	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	ポンプ場	改築	下町処理区ポンプ場改築(A-2-2)	日の出ポンプ場他10Pの改築(122施設)	横須賀市						2,138		策定済

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	終末処理場	改築	下町浄化センター地震対策(A-2-3)	水処理施設ほかの耐震化	横須賀市						59		策定済
	A07-008	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	終末処理場	改築	下町浄化センター改築(A-2-4)	水処理施設ほかの改築(177施設)	横須賀市						2,619		策定済
	A07-009	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	終末処理場	改築	下町浄化センター汚泥焼却炉改築(A-2-5)	焼却炉の改築	横須賀市						6,626		策定済
	A07-010	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	ポンプ場	改築	追浜処理区ポンプ場地震対策(A-3-1)	追浜ポンプ場(ポンプ棟の防水化)	横須賀市						10		策定済
	A07-011	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	ポンプ場	改築	追浜処理区ポンプ場改築(A-3-2)	追浜ポンプ場他1Pの改築(9施設)	横須賀市						241		策定済
	A07-012	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	終末処理場	改築	追浜浄化センター地震対策(A-3-3)	水処理施設ほかの耐震化(1箇所)	横須賀市						30		策定済

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-013	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	終末処理場	改築	追浜浄化センター改築(A-3-4)	水処理施設ほかの改築(14施設)	横須賀市						1,145		策定済	
	A07-014	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	終末処理場	改築	上町浄化センター地震対策(A-4-1)	水処理施設の耐震化	横須賀市							21		策定済
	A07-015	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	ポンプ場	改築	西処理区ポンプ場改築(A-5-1)	津久井ポンプ場他2Pの改築(14施設)	横須賀市							367		策定済
	A07-016	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	終末処理場	改築	西浄化センター地震対策(A-5-2)	水処理施設の耐震化(1箇所)	横須賀市							194		策定済
	A07-017	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	終末処理場	改築	西浄化センター改築(A-5-3)	水処理施設ほかの改築(31施設)	横須賀市							1,059		策定済
												小計						16,645		
												合計						16,645		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	-	-	内水ハザードマップ(C-1-1)	内水ハザードマップの作成	横須賀市						3	-	
		基幹事業と一体的に実施することにより、浸水被害の軽減を図る。																	
											小計						3		
											合計						3		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本評価の実施に当たっては、評価の透明性、客観性、公平さを確保するため、学識経験者の意見を求めて評価を行いました。	令和7年3月
	公表の方法
	ホームページによる公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要な幹線管渠等の耐震化事業により、「止まらない下水道のための施設の最適化」が図られました。</li> <li>・下水道管路施設の改築事業により、道路陥没件数の目標を達成し、「止まらない下水道のための施設の最適化」及び「公共用水域の水質向上」が図られました。</li> <li>・雨水管渠整備事業により、雨水枝線整備を実施し、「浸水対策の推進」が図られました。</li> <li>・ポンプ場・処理場の耐震化事業により、「止まらない下水道のための施設の最適化」が図られました。</li> <li>・ポンプ場・処理場の施設・設備の改築事業により、下水道使用停止日数は0日であり、「止まらない下水道のための施設の最適化」及び「公共用水域の水質向上」が図られました。また、最新設備に更新することにより省エネルギー化が図られ、「地球温暖化対策の推進」に貢献しました。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・管路施設及びポンプ場・処理場の耐震化事業は、災害時でも「止まらない下水道のための施設の最適化」を目指し、今後も引き続き「横須賀市下水道総合地震対策計画」に基づき実施していきます。</li> <li>・管路施設及びポンプ場・処理場の改築事業は、「止まらない下水道のための施設の最適化」を継続するため、今後も引き続き「横須賀市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、効率的かつ効果的に実施していきます。</li> <li>・雨水管渠整備事業は、本整備計画の目標では151.6%の達成率となったが、事業計画区域に対する雨水整備面積率は約47%であり、安心して暮らせる街づくりに資するため、今後も引き続きハード対策及びソフト対策により効率的な浸水対策を進め、浸水被害の軽減を図っていきます。</li> </ul>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	重要な幹線管渠等の耐震化率を5.8%（H31）から7.2%（R04）に増加させる。	
	最終目標値	7%
	最終実績値	7%
2	下水道に起因する道路陥没件数を20件/年（H31）から19件/年（R04）に減少させる。	
	最終目標値	19件/年
	最終実績値	19件/年
3	雨水管渠整備率を0%（H31）から100%（R04）に増加させる。	
	最終目標値	100%
	最終実績値	152%
4	ポンプ場・処理場の耐震化率を68.2%（H31）から90.9%（R04）に増加させる。	
	最終目標値	91%
	最終実績値	86%
5	ポンプ場・処理場の施設・設備の改築進捗率を0%（H31）から100%（R04）に増加させる。	
	最終目標値	100%
	最終実績値	93%

## 横須賀市社会資本総合整備計画に対する事後評価について

横須賀市で策定された社会資本総合整備計画（計画の名称：横須賀市公共下水道事業（防災・安全）、計画の期間：平成31年度～令和4年度）に対する事後評価について、下記の内容が妥当であることを確認しました。

### 記

1. 事後評価の実施体制、実施時期
2. 事業効果の発現状況
3. 特記事項（今後の方針等）
4. 目標の達成状況

令和7年3月11日

関東学院大学 理工学部理工学科 准教授

鎌田素之